



知り合いもコネクションもなく、ただ、或る教授の指導を受けたいがため、ニュルンベルク造形芸術大学に挑み正規卒業を果たした浅野式子氏。在学中、教授に言われた事が現在の浅野式子氏の作品を特徴付けているかもしれません。

「ドイツではそのような作品を作る作家は多くいるのだから、Noriko (式子)はもっと日本の背景を感じる作品を作ってはどうか」

それまでも、賞を頂く作品を作っていましたが、教授の指導と何気ない日常の風景が、浅野氏を代表する作品の誕生となったようです。

日本文化の繊細さと、馴染みのある規律が両立する作品は、身につけることにより自然から宇宙までを内包する世界を感じさせます。

コンテンポラリーアートを紹介する1010美術の2022年最後の企画展です。浅野式子氏創作のコンテンポラリーア

トジュエリーの芸術性をより多くの人々人に知っていただければと願っています。 1010美術 倉科

浅野式子個展 Das Herz 1010美術

2022年 12月3日(土曜日)～18日(日曜日)

11:30～18:30 水曜日休廊

硬質な素材であるシルバーやゴールド。これを細い線に伸ばして組んだり編んだり、折ったり重ねたりしながら立体的な造形に仕上げていくジュエリーをつくっています。今までには特にこれといった具体的なモチーフはなかったのですが、今回の新作は「ヘルツ」(das Herz) というテーマにこだわってみました。ヘルツとはドイツ語で心臓・ハートを意味します。一目でそれとわかるものもあれば、どこに隠れているか探さないとわからないものまで、多種多様なヘルツのかたちを楽しんでいただければと思っています。 浅野式子